

第2回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 平成29年2月24日（金）午後2時36分
- 2 閉会日時 平成29年2月24日（金）午後2時59分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
4番 保田 守君 6番 治徳 義明君 7番 原田 素代君
10番 北川 勝義君 11番 福木 京子君 13番 岡崎 達義君
14番 下山 哲司君 17番 金谷 文則君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市 長 友實 武則君 副 市 長 内田 慶史君
総 務 部 長 前田 正之君 教 育 長 杉山 高志君
教 育 次 長 奥田 智明君 総 務 課 長 原田 光治君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 奥田 吉男君 主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 平成29年3月行事予定について
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午後2時36分 開会

○委員長（下山哲司君） それでは、皆さんお疲れさまでございました。

ただいまから第2回議会運営委員会を開会いたします。

開会に先立ち、議長より御挨拶をお願いいたします。

議長。

○議長（金谷文則君） 皆さん、大変御苦勞さまでございました。

4年間こうやって皆さんと一緒に議会のほうへ上がらせていただきまして、きょうが正式な議会としては最終ということで、新たにいろいろ皆さん決意を持った中でそれぞれのところへ頑張っていかれるということでございますし、またここへ上がってこようと、我々思ってる人がほとんどだと思いますが、ぜひこの経験をもとに、またいろいろ尽くしていただきたいと思えます。

これから後、予定、それからまた一つお願い事が最後にございますので、そのときはまたよろしく願いをいたします。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、平成29年3月行事予定について。

○議会事務局長（奥田吉男君） はい、委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、お手元の資料に基づきまして3月の議会が関係する行事について御説明をいたします。

3月1日水曜日9時から柵原吉井特別養護老人ホーム組合議会です。場所、出席者等につきましては記載のとおりであります。同日11時30分から柵原、吉井、英田火葬場施設組合議会です。

6日月曜日10時から赤磐市経営・生産対策推進会議です。

7日火曜日11時30分からあかまつ荘改修工事完成式典。同日19時から桜が丘いきいき交流センター運営委員会です。

8日水曜日13時30分から赤磐市交通安全対策協議会です。

12日日曜日8時30分から赤磐市消防団消防操法訓練大会です。

14日火曜日9時30分から市立中学校卒業式です。

15日水曜日9時30分から市立幼稚園卒業式です。

17日金曜日9時30分から市立小学校卒業式です。同日13時30分から赤磐市社会福祉協議会評議員会です。

21日火曜日9時から例月出納検査です。

28日火曜日10時から赤磐市土地開発公社理事会です。

30日木曜日14時から岡山県広域水道企業団運営協議会です。

31日金曜日14時30分から教職員転任・退任式です。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

○総務部長（前田正之君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 続いて、総務部長。

○総務部長（前田正之君） それでは、先ほどに引き続きまして市の行事予定（案）を御説明させていただきます。

3月1日水曜日8時30分からは柵原吉井特別養護老人ホーム組合管理者会議、9時からは同じく組合議会であります。11時からは柵原、吉井、英田火葬場施設組合管理者会議、11時30分からは同じく組合議会であります。

2日木曜日14時からは赤磐市防災会議を行います。

3日金曜日10時からは消防団協力事業所表示証交付式であります。

6日月曜日10時からは赤磐市経営・生産対策推進会議。

7日火曜日11時30分からはあかまつ荘改修工事完成式典を行います。

8日水曜日10時からは災害時における緊急一時避難所としての施設使用に関する協定締結式を行います。同日13時30分からは赤磐市交通安全対策協議会を行います。

9日木曜日13時30分からは赤磐市地域医療ミーティング推進協議会。

10日金曜日10時からはメタセコイア記念植樹を行います。

12日日曜日ですが、8時30分からは赤磐市消防団消防操法訓練大会。

14日火曜日9時30分からは市立中学校卒業式。

15日水曜日9時30分からは市立幼稚園卒業式。

16日木曜日14時からは赤磐市地域公共交通会議を行います。同日15時からは教育委員会定例会を行います。

17日金曜日9時30分からは市立小学校の卒業式でございます。

21日火曜日13時30分からは岡山県防犯協会理事会に出席いたします。同日19時15分からは在宅医療・介護連携事業協議会を開催いたします。

24日金曜日13時30分からは文化財保護委員会を開催いたします。

28日火曜日10時からは赤磐市土地開発公社理事会を行います。

30日木曜日14時からは岡山県広域水道企業団運営協議会、15時15分からは水道企業団議会、15時55分からは岡山県病児保育広域相互利用締結式を行います。

31日金曜日9時からは市職員退職・退任式、同日14時30分からは教職員転任・退任式を行います。

以上が市の行事予定（案）でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま説明がございました行事予定について何か質問がありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ次へ進んでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは続いて、協議事項2番目、その他について議員さんから、また執行部から何かありましたら発言をお願いいたします。

○議長（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、議長。

○議長（金谷文則君） それでは、私のほうからお手元にお配りしております御検討いただきたいことを一つお願いをしたいと思えます。

実は、政務活動費の適正な使用についてということでございます。

昨今、テレビ、マスコミ等でさんざんこの政務活動費について報道がなされ、適切な使用については市民の声が多く聞かれております。私どものほうも、前のこの会議におきまして十分注意してやろうということをお願いをしておるところでございまして、ちょうどまたこれから選挙等もございます。政務活動費の、特に案分等、いろいろな面で政務活動費に使用していいとか悪いとかってということが我々の市議会の申し合わせの中にありますので、それを十分尊重していただいて、それに従った形での最後の報告のほうをお願いをしたい。

今、住民監査請求ということで監査委員会のほうへ我々議員に対しての政務活動費の使途が正しかったのか、どうだろうかというような疑義を持ちながら請求が来ております。そういうことで、ちゃんとしたことを我々はやってることが知らしめられるように皆さんにお願いをして、再度ここにお手元にお配りしておりますような形で御確認をいただきたいということ配らせていただきたいというふうなことで、皆さんの御決議をいただきたいと思ひまして、御報告を、お願いを申し上げると次第でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま議長のほうから政務活動費の適正な使用についてということで、各議員さんに通知をとということで、この内容でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 住民監査請求されとるというて、全員の議員に来とるわけ、どういうこと。下山さんに来とん。例えば言った僕に来とん。例えば、全員に来とん。どういうこと。

○委員長（下山哲司君） まずは、その内容については……。

○委員（北川勝義君） いや、請求されとんじゃろ。受理されとん。

○委員長（下山哲司君） 来とるという報告だけで、そこから先はまだ全く内容はお聞きしておりません。

○議長（金谷文則君） はい、わかってることならお答えします。

○委員長（下山哲司君） それじゃあ、議長、わかっとる範囲でお答えをお願いいたします。

○議長（金谷文則君） 私のほうでわかっておることにつきましてお話を申し上げます。

住民監査請求ということでは、まずその前に資料を……。この政務活動費についての、3年間をさかのぼって全員のそのものを出すよとということ、請求が実際にこの事務局のほうへ来ております。それからまた、ここに直接書いております住民監査請求がされとるというのは、受理をされとるというのがうちの澤議員、やめられましたけども、そのことについて請求が監査事務局のほうへされとるということで回ってきております。

それから、そのことについての説明等につきましては、今月末までに日にちを決めて、事務局のほうにまたそれを説明してほしいというふうな要望が来とるというのが今現況でございます。実際にどうこうということについてはそれ以降のことになろうかと思いますが、澤元議員についての住民監査請求が出とるということは御報告申し上げときます。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 受理されとるということ、住民監査請求は。

○議長（金谷文則君） そのとおりです。

○委員（北川勝義君） 原因は何。

○議長（金谷文則君） 私のところへ来ておりますのは、政務活動費の中で使われてるチラシだったかな、それからあと名刺等、そういうものについての疑義をたず請求でございました。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 3年間で全員来とると、3年間というのは28年は出てねえわな。27、6、5ということ。

○議長（金谷文則君） はい。

○委員長（下山哲司君） はい、議長。

○議長（金谷文則君） それは、我々議員に対してよくあることなんです、一般に、要するに開示請求ということで住民監査請求の形ではございませんが、そういうような形で要望が出ておりますということの御報告でございます。

○委員（北川勝義君） いやいや、25、6、7じゃな。8年は……。

○委員長（下山哲司君） 今年度はまだですから、前年、前々、前々年度です。この期の……。

○議長（金谷文則君） この期に、この期に。

○委員長（下山哲司君） この期の最初からです。

○委員（北川勝義君） ここは入ってねえということじゃな。

○委員長（下山哲司君） ここは入ってません。

この件については、まだ公表が出てませんので、ここで話をするという、先に進めるということではできませんので、御理解をいただきたいと。

他にございませんか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（下山哲司君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 一応、委員長のほうにはあらかじめ要旨をお伝えしているのですが、せんだって2月7日の日の一般質問のときのことと、もう一点質疑の日、2月24日ですか…。

○委員（北川勝義君） 何、何。

○委員（原田素代君） 2月7日と2月24日にわたって……。

○委員（北川勝義君） 2月7日、2月24日。

○委員（原田素代君） 私の、まず2月7日の一般質問のときにまさに北川議員のほうから指摘があったわけですが、私の答弁者の指定が、市長、市長、市長、教育長という形で提出をしております、私が……。

○委員（北川勝義君） 答弁者じゃろ。答えるほうじゃろ。

○委員（原田素代君） 答弁者です。それに対して、一番最初教育長から手が挙がって、教育長の御答弁があって、その後前田部長のほうから手が挙がって答弁をします。そのときに北川議員のほうから、おいおいと、答弁者はそうになってないじゃないかと、どういうことならと。それに対して金谷議長はじゃあ市長答弁されますかということで、前田部長が下がって市長がそっから答弁すると。とんでもない運営だなと思いました。私が言う前に同僚の北川議員のほうからどうなってんだというふうに言っていたと思いますが、私は正式に、きょうここで議事運営を進める責任を負うこの中で、議長としてどういうつもりだったのか。要するに、もしも議長が何らかの配慮があつてかえようと思うのはそれは結構です、議長の権限ですから。だけど、それを当事者に何にも言わずに、当日になって段取りがかわっているということは、これは議長としてかなり強引なとか配慮の欠けた運営ではないかと私は非常に不愉快な思いをしております。きょうはここで正式に議長のほうでどういう配慮があつてああいう形にしたのか教えていただきたいと思えます。

○委員（北川勝義君） ちょっと先にええか。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕が思うたのは、時々書き忘れるときあるんじゃない、こっちを、答弁者

の。せえで、事務局が誰かなというて聞きに来てくれたり、せえで言うんじゃけど、僕は市長、関係部長というて書くんじゃ、大体。それか、市長とか教育長。そのときは、市長が、僕の考え方で今までしようるとき、今回が初めてじゃったと思うたんじゃ、今たまたま思うたんじゃ。議場内の整理は議長じゃけ、どうこう言うんじゃねえ、じゃから議場で要らんことを発言したんじゃけど。言よんのは、書く書かんの前に書いとんじゃから、書いてねんじゃねえから、入れてあるんじゃから、書いてなかったらまたそういうのがあらあな。書いとんじゃから、とりあえず市長になっとんじゃけん、答弁へ出て一言、このことについては担当部長に答えさすとか、こういうて言うて、何も言わんでもええ、実のねえ話、実のねえというたらちょっと、市長違うんで、実のねえ言よんじゃねんで。議長、実のねえじゃのうて何かあるが、と思うて、僕はそう思ったんですわ。せえで、それからもう一個、僕もここで、議運で言うてええことかどうかというのを思うて、議場内のこっちゃけん、言うちやおえんけどねんかな、言うてもええんじゃったらもうちょっと書いてえことはある、言わんほうがええ、議場内のこっちゃけんとちょっと思うたんじゃ。僕もきょうのことで書いてえこともあるんじゃけど、僕は言い方悪いけど、僕は議員同士のこと、僕個人のこと言われても、僕は議員同士のことを言よんじゃねんじゃ。僕は議会の中であって、自分の考えのことを言よんじゃけど、一人、ほんならあんたが言ようるけ、あんたの質問どうこう、ふざけた話じゃねえ、もっと激しいことを書いてえよ。そりゃ、議場内のこっちゃけん僕は言ようらんじゃけど、議場内の整理じゃけ、ちょっとむかむかっとしとんじゃけど、そりゃ言うても議場のことじゃけ、議場で言うて返しゃあええことなんじゃ、議長、僕が書いてえのは。出て言うてもしゃあねえけん。ここでは議場のことは言えれんのんじゃねん、かばうんじゃのうて、と思うたんじゃけど、ええんかな。ええんじゃったら僕も議場のことをちょっとしゃべりてんじゃ。

○委員長（下山哲司君）　ちょっと委員長としての見解を申し上げさせてもろうてから……。

○委員（北川勝義君）　議運でおえまあ。

○委員長（下山哲司君）　お願いしたいと思うんですが、今お二方から御意見があったんですが、この議会運営委員会というものは全員の議員を対象にした運営をする会です。基本的には議会運営委員会の委員長、副委員長というものは、議長の補佐をしながら、助言をしながら、私も何回か議運の委員長の研修に行っております。議運の委員長研修という中で、議運の委員長というのは何の役目をするのかと、こういうのをしっかりたたき込まれております。2回や3回じゃありませんから。その中で一番大事なことは、皆さんが平等に議会運営ができるように手助けをするのがこの議会運営委員会なんです。それでありながら、議長の補佐もしなければならぬ。議長に意見を申し上げなければならぬ立場にあるわけですから、皆さんの個々の意見が全て、ほんなら通るといふわけにはいきません。議運として判断をさせていただきかやあいけんときには判断をさせていただきます。

言わせていただくと、最後じゃから、次にもまたどなたがされるかわかりませんが、やられ

るときに、議長だって人間ですから間違いもあります。

○委員（原田素代君） ちょっと待ってください。私の質問に対して答えていただけるっていうことをまず進めてもらって、その後で所感を言ってください。

○委員長（下山哲司君） 答える前に議運の委員長としての考え方を言わせていただくというて今言うたんで聞いてください。

そういう中で議長にも御意見を申し上げております、原田委員の言われることも。そういう中で踏まえて議長に答弁をしていただきたいと思いますので。

○議長（金谷文則君） はい、委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、議長。

○議長（金谷文則君） 議会の中でさまざま不手際がありましたことについては、今原田委員がおっしゃられた1つだけじゃなくて、いろいろ皆さんが思うようにいかなかった部分があったらと思うと思います。不徳のいたすところで皆さんが不愉快に思われたんならそれは謝らせていただきますし、一生懸命はしたつもりではございますが、大変至らぬとこがあったことを改めて皆さんの前でおわび申し上げて、もし何かまたこれから先いろんなことがあってというときには、きょうのことやこの4年間の勉強になったことを参考にして一生懸命頑張っていきたいと思いますので、大変失礼を申し上げましたということを申し上げておきます。

○委員（北川勝義君） ちょっと、下山さん。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（原田素代君） ちょっと待って。当事者だから私にお願いします。

○委員（北川勝義君） ちょっと済いませぬ、僕のほうが先に聞いて。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 下山さん、議運でこのことは、今言うたように、そりゃもうさすのは議運の委員長で、議長がやられてそりゃ構わぬ。議場内のことを、僕さっき言うたが、議運の中では、整理したんじゃないけど、えんじやったら僕も次言わせてもらおうと思うて、ということが言いたかった、それだけ。

○委員長（下山哲司君） ですから、先ほど申し上げたのは、議運の委員長は議長を補佐する立場としての見解を入れて……。

○委員（北川勝義君） ええか悪いか……。

○委員長（下山哲司君） ですから、人間じゃから議長だってそのタイミングで間違えることもあるし、そういうことも踏まえた中で答弁をお願いしますと、こういう……。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） お答えいただいて、まずありがとうございますんですけど、不徳のいたすところとか誤りとかではなかったと思うんです。きっと何か配慮があったんだと思う

んです。だから、その配慮を私は聞かせていただきたい。

○委員長（下山哲司君） 原田委員、この議会運営委員会の運営の立場として、委員長としては、そういうそこから先の話はしていただくつもりはございません。手落ちがあれば謝っていただいで……。

○委員（原田素代君） だから、手落ちなんですか、私の問題は。今、北川委員も一緒に言ったから北川委員に対する謝罪なんですか。

○委員長（下山哲司君） いえ、北川委員がどう言われようと、私がやらせていただいとる以上はこの運営委員会として見解が間違っているかいらないか……。

○委員（原田素代君） はどうなんですか。

○委員長（下山哲司君） ですから、それは推定の範囲になりますから、だからそういうことを先に進んで話をしていただくつもりはありません。はっきり言っときます。

○委員（北川勝義君） 下山さん。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕はせえでええと思う。僕の聞いたかったんだけは、原則として、下山さんみたいに議運の研修も行つとると。議場内で起きたことは議長じゃろ。じゃけ、議運で議場のことの話は、進行どうこうは我々議運じゃ諮れまあ言うたん、議会運営の話はできてもというのを言いたかったんで。

○委員長（下山哲司君） ですから、それをもう諮ることはできません。議場内のことを。

ですから、先ほども申し上げたように議運の委員長、副委員長の立場は議長に意見を申し上げ、改善をできるところはする、そういうふうなシステムでございますので、そういうふうに理解をしてください。

それから、執行部のほうにお願いしときたいのは、申し合わせ事項とはいえども、こういう形で出したらそういう形でやってくださいということで書くわけですから、格の上の人から順番に必ず答弁席に立っていただくと。次の部下にさせる場合には、部下にさせますと、詳細については、こういう方向で今後もやっていただきたいというふうに思いますので。そういう問題があるからこういう問題になるんで、誤解が誤解を招かないように、よろしく運営をお願いしたいと思います。

以上です。

ほかにありませんか。

○委員（保田 守君） 待って。

○委員長（下山哲司君） はい、保田委員。

○委員（保田 守君） きのう山陽団地の活性化ということで……。

○委員（北川勝義君） 議運に関係あるん、それ。

○委員（保田 守君） いや、ちょっといいですか、その他で。

私たち全然連絡がないまま行われて、やりましたという報告が後から来てね……。

○委員長（下山哲司君） 何ですか、今。

○委員（保田 守君） 山陽団地の活性化についてということで、けさ……。

○委員長（下山哲司君） ここは議会運営委員会なんで……。

○委員（原田素代君） でも、いいじゃない、その他だから。

○委員（北川勝義君） もう、ええ。

○委員長（下山哲司君） いや、その他でも議会運営に関してのその他ですから……。

○委員（原田素代君） 議会運営でしょう。

○委員長（下山哲司君） その辺だけ御容赦ください。そうせんと節度がなくなりますんで、御理解いただき……。

○委員（保田 守君） 個人的に聞きます、後で。

○委員長（下山哲司君） 個人的にお願いしたいと思います。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、最後の議運となりますので、言いたいことをたくさん言わせていただきましたが、私なりには一生懸命やったつもりでございます。長い間ありがとうございました。

以上をもちまして第2回議会運営委員会を閉会したいと思います。

ありがとうございました。

午後2時59分 閉会